

# 職員研修報告

平成 28 年度 高野台保育園 (社会福祉法人尚徳福社会)

参加者名

研修名	シンガポール研修
主催者	尚徳福社会
日時	10月11日～15日
会場	シンガポール
講師名	
参加人数	13名

## 研修内容

- シンガポールの歴史
- 1965年 マレーシアから分離独立をし、シンガポールが誕生する。
- 1970年代からは経済の高度成長を示し、国際金融センターとしても発展する。
- 中国語、マレー語、タミル語が公用語であり、今のシンガポールの多様な文化の基礎を築いている。
- 外資系の巨大資本を入れ、観光にも力を入れている。

教育省 (MOE) が保育園を作ったので シンガポール人と永住権を持った人が入れる

↓

カリキュラムが作られている。

シンガポールでは防衛省、教育省が一番予算が多い

→ 働く人の給料が高い。

シンガポールの中流家庭

80% → 公団 20% → 民間

↳ 99年契約 (買い取り) 平均 3000万

給料 大卒  
25~37万  
金融関係  
50~60万

## Teacher-Child Ratio

Age of Children (Group type)	Current Staff to Children Ratio	Revised Staff to Children Ratio (without para-educators/instructors)	Revised Staff to Children Ratio (with para-educators/instructors)
18 – 30 mths (Playgroup)	1 : 8	1 : 8	1 + 1 : 12
30 – 36 mths (Nursery 1)	1 : 12	1 : 12	1 + 1 : 18
36 – 48 mths (Nursery 2)	1 : 15	1 : 15	1 + 1 : 20
48 – 84 mths (Kindergarten 1 & 2)	1 : 25	1 : 20 (K1) 1 : 25 (K2)	1 + 1 : 30

1] Child care teachers are teachers who work with children aged 4 to 6 years old in child care centres.



# ① アセッショニ幼稚園

創立57年の園であり、キリスト教の教えを元に置いている。

You can do it - 考えをすることは良い事だ

壁にはキリスト教の区が書いてある → せ、こほしい事  
物の価値感を大切に

先生と子どもの比率

18ヶ月 ~ 30ヶ月	1 : 8	
30ヶ月 ~ 36ヶ月	1 : 12	→ 当園では 1 : 7
36 ~ 48	1 : 15	
48 ~ 84	1 : 25	

幼稚園 (キンダーガーデン) 保育時間は半日と1日か選べる  
(3才 ~ 6才) 3時間15分 ~ 4時間

保育園 (チャイルドケアー) 2部制

以前は省が違ったが2年前から一緒になった

シンカポールも少子化問題がある  
ベビーボーナス (生まれたら一時金がもらえる)  
保育料にも補助金がある  
親が貯金をすると同額補助がもらえる (学資金のため)

3歳児クラス

スローカードはいつでも見れるように書いて貼ってある。

におう、さわる

アルファベットにふれる - 工作、言葉を作る

14名だから2グループに分かれて活動している - 理解している  
↓ かかあかあかあか  
2人組人 (7名はアルファベット) と分かれる 少人数で  
7名は外遊び) 活動している



さわることで理解を深める

おもちゃはたくさんあるが、待つことも教えている。

あそびは30分と決めていて → つまらないと思う時間  
(179) タイミングをはかる

↓  
少人数での活動

・4歳児クラス (4クラス)

わかちあう  
待つ

英語と中国語 (それぞれの先生がいる)

↳ 外の音が聞こえないように個室がある

足跡が床に貼ってある  → 自分の場所がわかるように

自分のことは自分で

先生の言う事はきく

時間を守る

) 言葉にする → 実践していく

・5歳児クラス

数字、アルファベットを使う

個人の作品、グループの作品が貼り出している。

春夏秋冬 — シンカボールに四季はないか、知らせている。  
世界を知る  
お金持ちの家庭もあり、色々な国に行くこと)

1期 — 10週間

テーマが決まっている

コンピューター 1週間に1回

小学校に入るとパワーポイントを使うので  
基本の使い方を教えている。

音楽、ダンス等の専門の部屋もある

朝食

9:15 — この日はパンとリンゴ

お昼

12:45 ~ 1:15

) 二部制なのでこの時間

・中庭

水、カーテン、砂場、遊具あり — 小さいの2-3人グループで  
石には文字が書いてある — アルファベットで文字を作る あそぶ

↓  
学びとつながっている

・園目標

- ( 楽しい場所
- ( 学んで成長する場所

オープンコンセプト

各グループ違うあそび、場所で行う  
 玩具はわかちあう ( 時間を区切って使う )  
 変化に対応する力

\* 幼稚園なので中国語、英語を分けて教え、クラスの中も全2ヶ国語で表示されている。

1フロアを各コーナーに分けて使用している。

自然の物(葉、は)、リサイクル品で制作をすることが多い。

価値感を大切にしている → 小グループであそびを通して学ばせている。

② キャタピラー 保育園

キンダーカーテン	3~6才	3.4時間保育
チャイルドケアー	2ヶ月~6才	1日~半日保育

ビルの中にある園

ファーストキャニオス (大井の会社)

- ・学校
- ・商業、オフィスビル
- ・アフタースクール
- ・先生の学ぶ所
- ・研究をする所

## 幼児の環境整備

ほとんどビルの中、園ではあるが、外の空気を取り入れるようにしてある。

建築士と契約をして思い通りの園を作る (グッドデザイン賞を受賞している)  
↳ 子どもの想像力で見てあそぶ

きれいではなくかくされた想像力を動かせるように作っている

## カリキュラム

0~3才  
4~6才) に分かれています

どうなっているかは (園目標) は一緒だがアプローチの方法が違う  
0~3才は関係性、ふれあいが基本

あそび、探索、遊具が重要

4~6才は ① 数と文字 - 強制はしないが、小学校に入ると必要になるのをそまご持ち上げることは必要

② あそび、制作、工作、表現 - どうして? → 調べる  
数と文字を使って応用と  
いう意味ではつながっている

担任	年少	2:25	) 中国語 英語を話す担任を1人ずつ入れられている
	年中	3:4:25	
	年長	3:4:25	

\* キャタピラーは中流上

(中流)

低所得 - 10% - 政府の補助がある

保育料 1530 シンガポールドル

政府から300ドルの補助 → 1230ドル ¥ 92,000

2ヶ月~18ヶ月見

600ドルの " → 1091ドル ¥ 81,000

保育士という資格はないが 60~70% が大卒である。

→ 研究もあるのが大卒が多い

給料は平均より若干下ではあるが、熱意、希望でやっている

保育士の大切さも認識されつつある → 保育士の質向上が

散歩はビルの中せ外 → 地域社会を見に行っている。

大切

### ③ ケリー・ハート・ディスプレイ・ランド 保育園

中流 ~ 中流上の家庭の子どもが多い

6年目の保育園 フランチャイズで私立園

3ヶ月 ~ 6歳児

英語、中国語、乳児の先生にわかれている

ビジョン

- ( 将来のリーダーとなる人を育てる
- 人思いやる心を持つ
- 地域社会に貢献する

チャリティカーニバルを父兄と行い低所得の団体に寄付をしている。

カリキュラム

価値感

文字を読んだり書いたりする

社会的責任感を育てる

環境に対応する ( 考えている事を話す、書く、提示する)

園で学んだ事を持ち帰る

日々の生活とどうやって実践していくか

保育料 3ヶ月 ~ 18ヶ月 1650ドル → 600補助 → 1050ドル  
18ヶ月 ~ 1200ドル → 300 " → 900ドル  
¥ 78,750  
¥ 78,750

小学校は1月始まりである。

↳ そのため発表会があり、練習もしている。

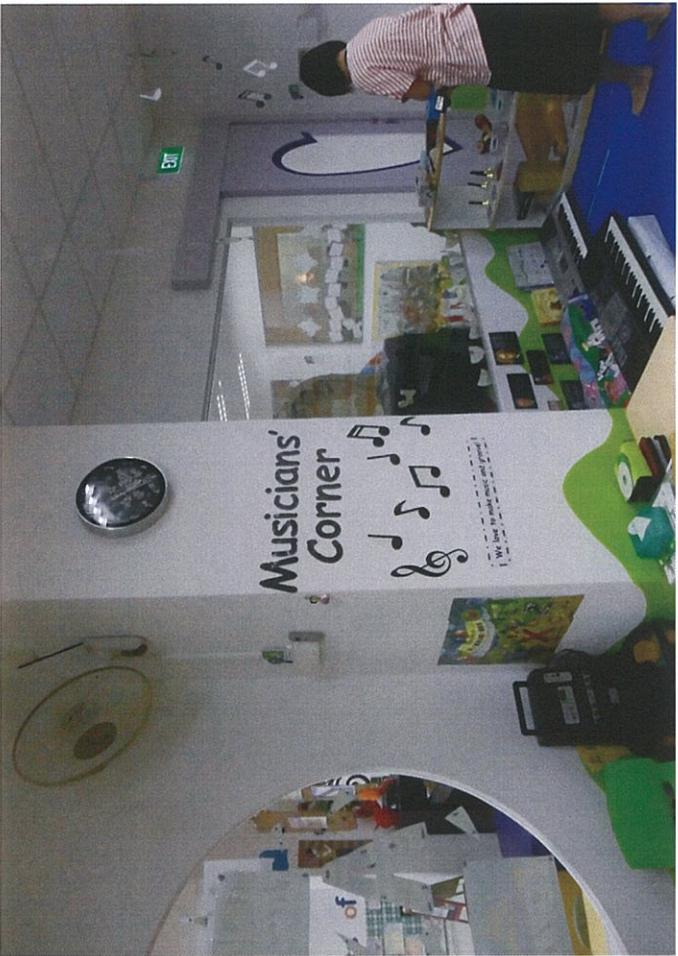
7~19時南園、延長はない

連絡ノートあり

(半日の子ども ランチあり)

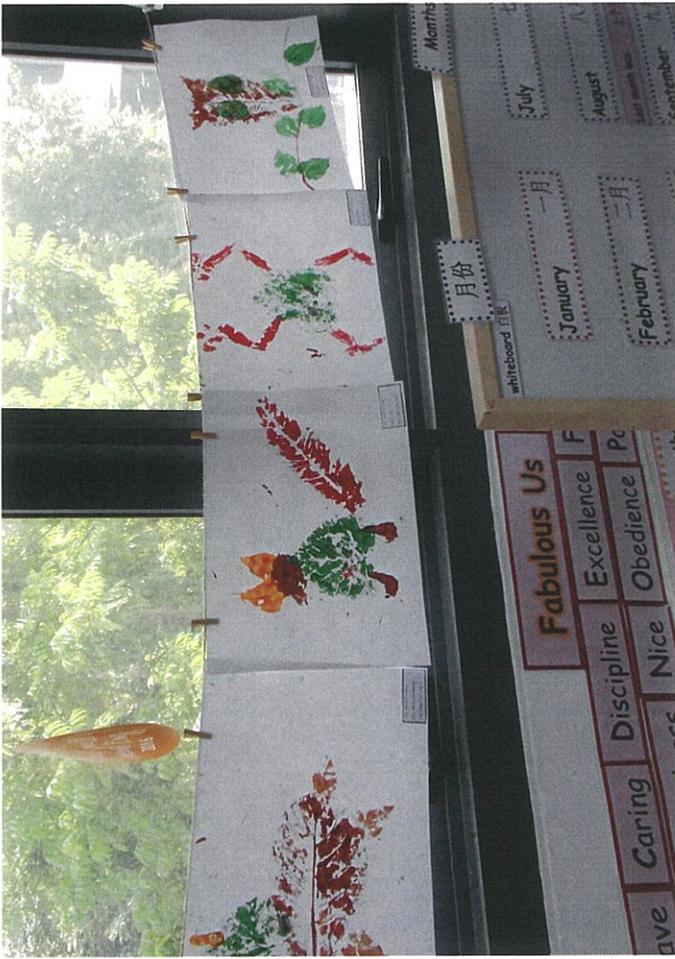
(1日 " 朝食、ランチ、おやつあり) ※アレルギー対応もしている

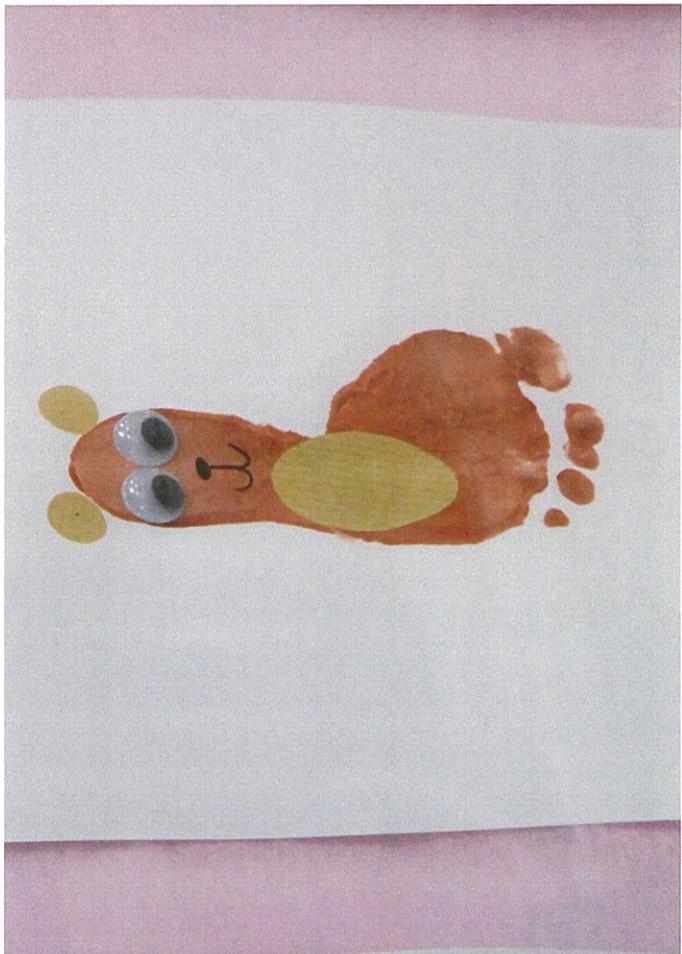
※コーナーが変わる。今回は図書館をイメージして作っていた。  
お迎えが来ると放送が入る。  
物には英語、中国語 2つの表示が書かれている。











#### ④ オデッセイ 保育園

上流家庭の子どもが多い

ビジネス

国際的な人向を幼児教育に取り入れる  
どんな文化にも適応できるように

4つの園を展開

マレーシアに2園、シンガポールの2園目

イタリアにあるプログラムを使用し、シンガポール用に変えている

子ども中心

- ・継続的なカリキュラム
- ・外部交流 (警察、ボランティア団体)
- ・新人研修にお金をかけている
- ・国際的、障害児も受け入れている  
(軽度)

カリキュラム

言語 - 英語

数 - 数あそび

プロジェクト - クッキング (期が変わると次のプロジェクト)

中国語 - クラスに先生がいる

中国語しか話さない

音楽と美術 - 週に1回

スタッフに音楽と美術の専門の先生がいる

運動 - 探索活動 (小さい子ども)

料理 - クッキング室もある

散歩

外で学ぶ経験

在園児 230人 - 保育士 40人

スタッフ 55人 (庭師等他)



・キッチンが見えるスペース

本当のキッチンが見えて大人が作っている姿が見えたり、音が聞こえたり、臭いを感じられる子どもの料理スペースがある。

がウス張り

5歳 インテリアパンケーキを作った

↓  
売る

— 起業家をめざす

宣伝も経験する

・美術室

担当の専門の先生がいる

土、粘土、木、絵具と大量の材量を使っているのは珍しい。

期によつてイメージが決まっている (例、影)

作った作品は展示会をする → 父兄が買う → 売り上げ  
博物館 ) を使って会をして本物を知る ユニセフ寄付  
美術館

※ 園庭も広く、丘になった所に園舎は建てられている。

植物園もあり、野菜を作ったり、果実を取ったり草取りも経験する。 → リサイクル、エコのため

暑い国だからプールはなく、外でシャワースペース、水遊びスペースがある。

登園は顔認証で、カメラで確認している。

⑤ インターナショナル幼稚園

日本人、

ハーフ

外国人が教名 ) 存籍

日本語を大切にしながら英語も使う。

英語を聞き取ることができるようになっている。

日本人担任と英語を使う担任との一斉活動をしている。

正しい英語を聞くことで英語がわかる。

英語で困らなくなる。

日本人として海外から日本に戻った時に困らないように

( 箸を使う  
靴をそろえる 等も教えている  
立って食べない )

半期に一度、成績表とコメントを出す。→ 児童表の内容の様な事  
2、3歳のみ連絡ノートがある(午睡あり) できるようになったこと

私立なので補助金はない(ローカル園(外国人の園)と見なされている)  
保育料 10万円位(全園児一緒)

2007年南園(元老人ホームの場所であった)  
10年契約 今年で切れるのでセントーサ島に移転予定

定員160名、職員40名

2歳児から受け入れ

保育時間 9時~3時半、夏休み2週間

障害児各クラスに2-3名ずついる → 受け入れられる所が少ない

※ 日本を大切にしながら、英語圏で生きていくように指導している。  
やはり、日本の保育園、幼稚園に近い。

シンガポール人ではないという所で政府からは補助金か  
もらえない所が経営上、とても大変だと感じた。

## 考察

シンガポールはまだ歴史は浅いが、未来の子ども達、シンガポールという国のために子どもを大切にしていると感じた。

少子化対策としても、日本では考えられないような補助をしている。生まれた時にはベビーボーナス、子どもの将来の学資金として親が6歳まで貯金をすると同額をもらえる、保育料と政府が援助していることかとても多い。

子どもを大事に育てることか、未来の国のことを考えているということかすばらしい国だと思う。

又、キャリアを積むことで、経済的(給料)にも仕事のにもステップアップしていきることかはっきりとわかる。

そのために、幼児教育も小さい頃からビジョンをしっかりと子どもに伝えている園が多い。少人数のグループで活動することにより、個人をしっかりと理解しているようにも感じた。

中国語、英語も小さいうちから2ヶ国語を使えるように生活の一部としていた。

初めて海外の保育を見ることかでき、日本だけではなく世界として子ども達を見ることかできる貴重な体験をすることかできたことにとっても感謝をしている。